科目名称	哲学	学年学期	単位数	時間数
		1学年前期	1	15
担当教員	森川　孝吉	授業に関わる実務経験	□ 有（　　） ■ 無	

【1】 授業概要

生命倫理学の基礎的な諸問題について社会的視野を持って考える習慣を養い、将来、医療現場で直面するであろう問題への柔軟な対応力を培う。

【2】 学習目標

1.人間の価値観、生命及び尊厳について理解する。
2.人間としての存在・生き方・自我などについて学び、自己洞察を深め、自己の人生観・死生観をもつ。
3. 物事の原理や本質を追究することで、思考力を養う。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
□ 5. 多職種との連携・協働
□ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	生命倫理とは？	講義
2	人間と尊厳(1)	講義
3	人間と尊厳(2)	講義
4	生殖補助技術・遺伝子操作	講義
5	脳死と臓器移植	講義
6	死生観	講義
7	まとめ	講義
8	筆記試験	

【5】 評価方法

教場試験（ペーパーテスト）による評価を基本とする。ほかに授業中の参加姿勢や、別途課すレポートの評価を加味する場合がある。

【6】 教科書

今井道夫：哲学教科書シリーズ　生命倫理学入門（第 4 版）　産業図書株式会社　2018

【7】 参考書

葛生栄二郎：ケアと尊厳の倫理　法律文化社　2011
樋口範雄，土屋裕子編：生命倫理と法　弘文堂　2005
森岡正博:生命学に何ができるか　勁草書房　2001
マイケル・サンデル:完全な人間を目指さなくてもよい理由　ナカニシヤ出版　2010
マイケル・サンデル:これからの正義の話をしよう　早川書房　2011

【8】 受講生へのメッセージ

看護の専門領域を離れて、人間が広く関心を抱く領域についても視野を広げることが望ましい。なぜなら、それなくしては看護現場で患者は多様な人間的な欲求を持った人としてではなく、単なる医療対象、またはその被験者としてしか見えなくなるからだ。
*進行状況によって変更することもあり得る。